杉山春さん子育て教育講演会のお知らせ

母子家庭の貧困問題と子育ての困難

～「大阪２児置き去り死事件」を取材して～

2月9日（日）
10：30～
津市河芸公民館

結婚当時、彼女は公的な支援を適切に使い、ママサークルの立ち上げにも関わる、しっかり者の母親だった

２０１０年、大阪ミナミのマンションで、３歳と１歳の子を５０日間放置して死に至らせた事件。まだ記憶に新しいところです。

母親は四日市の出身で、当時の新聞には「家に帰らず遊びまわる」・「育児放棄」・「無責任」などという言葉が飛び交いました。　しかし、この事件をもっと深いところから見つめた本「ルポ虐待・大阪二児置き去り死事件」（ちくま新書）が出版（２０１３年９月）され、若いお母さんや教育関係者の間で反響を呼んでいます。

作者は三重県出身のノンフィクションライター・杉山春さん（５５）。杉山さんは毎日新聞のインタビュー記事で、次のように述べています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

受刑者（母親）は「早くママになりたい」と、１９歳で妊娠して結婚。離婚の際は親族会議を１度開いただけで、翌日には元夫と２人で役所に届けを出しに行った。結婚や離婚に踏み切るまでの意識の「軽さ」が感じられる。

国勢調査によると、祖父母などと同居しておらず、母子のみで構成する母子家庭は１９９５年から２０１０年までの１５年で約２３万件増えた。「性のあり方が変わると家族の形も変わる。雇用の流動化も加わり、人間関係が固定しない『漂流する母子』が現れた」と、杉山さんは指摘する。

周囲からの孤立を深め、ＳＯＳを出せずに虐待に向かってしまう母親。背景に「自尊心のなさがある」と杉山さんは推測する。自分が「社会から救われる存在」だと思うことができず、家の中の窮状を隠してしまい、子どもがその陰に埋もれてしまうという。　貧困家庭の子どもの支援もしている杉山さんは「中学時代の彼女を思わせるような子どもたちもたくさんいる。どう光を当てるかが課題だ。自分に価値があると思える教育が必要ではないか」と訴える。

（「毎日」１０月２５日）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

杉山春さん

みえ教育ネットワークは杉山春さんをお迎えして父母・教職員・市民を対象とした講演会を開きます。

「２０１４春を呼ぶ！みえ教育ネットワーク教育研究集会」午前の部の記念講演として開催されます。

参加は無料で、どなたも自由に参加できます。

なお杉山さんは、午後の第１分科会「教育子育ての困難を考える～杉山春さんを囲んで～」にも参加されますので、さらに話をききたい方はこちらにもご参加下さい。

２０１４春を呼ぶ！
みえ教育ネットワーク教育研究集会

２月９日（日）１０：００～１６：１５
津市河芸公民館（河芸町民の森）

９：３０受付	１０：３０記念講演
１０：００開会行事	１２：１５昼食・休憩
合唱サークル「うたうた」	１３：３０分科会

河芸公民館へは国道２３号線朝陽中学校前交差点を西に折れるとすぐです。大きな駐車場あり。電車の場合は近鉄豊津上野駅から徒歩２０分。伊勢鉄道河芸駅から徒歩１０分。

みえ教育ネットワークは

正規・非正規を問わず、教育現場に働く人ならだれでも、一人でも入れる組合です。

代表　道家桂（四日市笹川中学校）
連絡先　津市寿町7－50　みえ労連
059－223－2615

みえ教育ネットワークブログもご覧下さい。
http://d.hatena.ne.jp/mie_net/